



面会中止で家族と会えないため、職員と一緒に手紙を書いている利用者様（特養）

新型コロナウイルスによる新しい生活様式をふまえた人と人の繋がりが模索されています。感染を防止するには三密を避ける、ソーシャルディスタンスを保つ等、嫌がうえでも人と人が距離を置かざるを得ま

感染防止とつながりの間で

新型コロナウイルスによる新しい生活様式をふまえた人と人の繋がりが模索されています。感染を防止するには三密を避ける、

祥雲館の志向する アフターコロナ、 ウイズコロナ時代の交流の場づくり

せん。対面で繋がってきたこれまでの常識が覆される状況となっています。

リモート化の世相を受け

緊急事態宣言以降、オンライン会議やWEBセミナー、果てはオンライン飲み会までリモート化が推奨されています。祥雲館でも

会議や打合せはもとより、就職説明会までオンライン参加です。そこでは対面でのやり取りとは違い何かしらの違和感はめぐえませんが、リモートは、賛成・反対の意見や自身の考えをまとめて発信する会議では有効だが、相手の様子や表情を読み取り言葉の

リモートには、移動負担の軽減やペーパーレス、参加の手軽さといったメリットがあり、新しい生活様式では重宝されてしかるべきです。しかし、口角泡を飛ばすことはなく、言葉を選び、タイミングを計るというかつてなかった「距離」を強く感じてしまいます。人々の命を脅かす未知のウイルスが蔓延し、感染から避難して命を守るうと行政機関が打出した「ステイホーム」。そこは究極的に

Near Realの場づくり

自宅（家）しかないということ。では、独居の方は？ 独居でなくても、外出を控え、人と会う機会が激減し、電話でしかおしゃべりできない物足りなさ、親しい人の近況を温もりとして感じ取ることができないもどかしさ等、多くの人が一抹の寂しさを感じていることでしょう。ここに福祉が広くエッセンシャルワークとして認められる力があるのではないかと考えます。社会福祉法人に求められる地域活動は自宅待機になった方のフォローをして繋がりへの代替・補完をすることだからです。



第88号 発行：令和2年10月1日

社会福祉法人 豊悠福社会 祥雲館 人生の学校

〒563-0101 大阪府豊能郡豊能町吉川187-1 TEL: 072-733-2301(代表) FAX: 072-733-2303

番号をお間違いないようご注意ください



笑雲 Café 第41回 Near Real ~これからの地域交流のあり方~

新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、4月、7月は開催を見送りましたが、今回は定員数と時間を減らし、一部リモート参加とする「対面×オンライン」でハイブリッドな笑雲caféの開催を予定しています。「コロナ」をテーマとした座談会です。ご参加の方には、お茶菓子の提供なし、検温の実施など感染症拡大防止対策へのご協力をお願いいたします。

- 【日時】 令和2年10月24日(土) 10時~11時
【場所】 祥雲館ヴィレッジ・エン En-GAWA (豊能町東ときわ台6-12-8 ☎072-733-2181)
【定員】 15名(先着順) ※参加費無料
リモートで参加いただける方は、お申し込み時にその旨お伝えください。
【申し込み】 祥雲館 ☎072-733-2302 (10月20日(火)まで) ※駐車場ご利用の方はお申し込み時にお伝えください。

放課後等デイサービス「ほたるぼし」
10月1日より児童発達支援事業開始
開所日：月~金曜日(夏休、長期休暇中は休み)、開所時間：10時~12時まで(送迎あり)
放課後等デイサービス「ほたるぼし」では、3歳児から小学校に入学されるまでのお子さんに対し、日常生活における基本的な動作の指導、知的技能の付与、集団生活への適応訓練を行う児童発達支援事業併設に向け準備を進めています。機能訓練指導員や保育士を配置し、各々の個別支援計画に基づき専門的な動作の指導を行います。子どもたちの「できた」を笑顔につなげ、「できる可能性」を広げる支援を目指します。
子育てに関するお悩みやご不安などございましたら、気軽にヴィレッジ・エン地域交流スペースへお越しください。「ほたるぼし」スタッフが懇切丁寧にお答えいたします。
【お問い合わせ】 社会福祉法人豊悠福社会 放課後等デイサービス ほたるぼし 担当：武田、池田 ☎072-733-2184

10月1月の予定

【祥雲館町おこしプラザ】

森の芸術祭2020は、今後の感染症拡大等を考慮し、開催を断念することとなりました。開催を楽しみにしていただいた地域の皆様には誠に申し訳ございませんが、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

【笑雲café】 令和2年10月24日(土) 10時~11時

場所：En-GAWA、オンライン参加可

【地域交流スペース En-GAWA】

8月再開予定を近隣地域での感染症拡大もあり、再開を延期しておりましたが、10月より感染症拡大予防対策を徹底し、短時間、人数制限等の条件を設けて再開させていただきます。利用時間・利用方法等はEnの掲示板またはホームページ等にてお知らせいたします。

面会再開のお知らせ (要予約)

これまで、入所利用者の家族様へは手紙や電話で近況報告をしてまいりましたが、9月中旬以降、制限付きでの面会の実施を始めました。



【特別養護老人ホーム祥雲館】 9/18(金)~ 金・土・日

14時~15時 (予約受付中) ☎072-733-2356

【セカンド・リビング祥雲館】 9/21(月)~ 曜日指定なし

14時~16時 (当日予約OK) ☎072-733-2252

【やわみどり】 面会をご希望される場合は、地域交流スペース En-GAWAを利用いただいております。 ☎072-733-2182

※いずれも、1回につき10分程度、2名までとさせていただきます。

TOPICS

★リビングシェア あじさい

毎月第1水曜日は抹茶の日。ご利用様と一緒にお茶を点てています。「昔してたよ」「懐かしいね」「お茶菓子美味しいね」と話が弾みます。



★ショートステイ・リビング祥雲館

料理男子が色鮮やかなさわやかゼリーポンチを作りました。透明の器にゼリーと懐かしのラムネを入れて出来上がり！ラムネは昔からある飲み物で皆さん懐かしいと喜ばれました。

★放課後等デイサービス ほたるぼし

ほたるぼしの子どもたちは、川西市黒川のせせらぎ公園へGO！川に入ったり、お気に入りの模型を作るなど、アウトドアを楽しみました。



★障がい者グループホーム すみぞら

モミジバフウの実を使ってキーホルダー作りに挑戦！布を実の穴に埋めていきオリジナルキーホルダーが完成しました。

★祥雲館 ヴィレッジエン

やわみどり、すみぞら、ほたるぼしが共同で七夕飾りを作りました。コロナ禍で、高齢者と子どもたちとの交流はありませんが、それぞれに願いごとを飾りました。



★リビングシェア あじさい

利用者様がご自宅のお庭の花を持ってきてくださいました。優しい気持ちに癒されています。



TOPICSはホームページでも詳しくご覧いただけます。

祥雲館

検索

facebookはこちら⇒



祥雲館 facebook

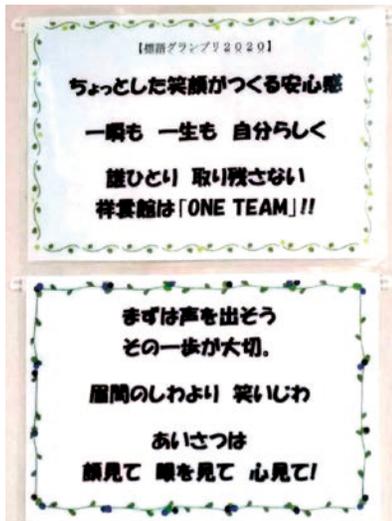
検索

次号は、令和2年12月25日~31日配布予定です。

ホスピタリティ委員会

標語キャンペーン

祥雲館ではホスピタリティ向上に職員が一体感を持って実践するよう、2年毎に『ホスピタリティ標語キャンペーン』を実施しています。



写真のメッセージは選考された標語です！

職員の遊び心をくすぐりながら、利用者様、ご家族の皆様に安心感と満足感をお持ちいただけるよう日々頑張っています。

職員から応募があった標語を、職員全員の投票により優秀作を選考し、入選した標語を施設内各所に掲示し、職員のホスピタリティマインド向上に努めています。

障がい者グループホーム「すみぞら」



すみぞらは、昨年10月に開所し、丸一年を迎えることができました。私たちは、障がいがあることで生きづらさを抱えた方やそのご家族と向き合い、人と人とのつながりの中で、自分らしくいられる場所を目標に障

がい者支援活動を行っています。現在、7部屋満室です。女性ばかりワイワイと楽しく過ごしています。ここでは、入居されている方の意思決定を大事にし、自然と笑顔があふれる関係づくりを目標に支援を行っています。そして、今年に入り、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、入居者の皆さんが楽しみにしている週末の買い物にも行けず、町内イベントもすべて中止となりました。休みの日はホームの中で過ごすしかない状況が続いています。そんな中、みんなと相談し、敷地内の駐車場で花火をしようかと企画しました。せっかくなので、同敷地内のサ高住「やわみどり」の方や、ご近所の方にも声をかけさせていただき、みんなで花火を楽しみました。花火に負けないくらいキラキラ輝いた笑顔を見ることができました。

これから、グループホームすみぞらは、自分らしく自分の思いで暮らすことができる場所となるよう、ともに歩んでいきたいと思えます。すみぞら ホーム長 池田清美

編集後記

新型コロナウイルス感染症が拡大し、面会制限が長期化し、地域交流イベントも中止となりました。このような中で職員がアイデアを出し合い、各所で夏祭りを行いました。利用者さんも職員も、いつものように笑い合っていると忘れホッとする時間となりました。しばらくはマスク生活が続きます。皆様もご自身の体調には気をつけてお過ごしください。

事業統括 植村